

7月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

7月分の販売電力量の合計は、56億5,500万kWh、対前年比99.0%となり、前年に比べ気温が高かったことによる冷房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

電灯

電灯は、前年に比べ気温が高かったことによる冷房需要の増加などから、対前年比101.0%と前年実績を上回りました。

電力

電力は、前年に比べ気温が高かったことによる冷房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、対前年比98.2%と前年実績を下回りました。

（表 - 1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	1,530	1,514	101.0
電 力	4,125	4,200	98.2
合 計	5,655	5,714	99.0

個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表 - 2 参照）

7月の発受電電力量の合計は、66億8,300万kWh、対前年比102.9%の実績となり、前年実績を上回りました。

（自社水力）

出水率116.9%の豊水となったことから、発電量は前年を1億9,600万kWh上回る7億1,100万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を3億kWh上回る49億900万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を1,600万kWh下回る6,400万kWhとなりました。

（他社受電）

日本卸電力取引所における取引（売電）の増加などから、他社受電合計では、前年を2億6,500万kWh下回る17億3,600万kWhとなりました。

(表 - 2 : 発電電力量)

(単位 : 百万 kWh、%)

区 分		当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 力	水				
	自流式	655	464	191	141.1
	貯・揚水式	56	51	5	109.9
	計	711	515	196	138.0
社	火 力	4,909	4,609	300	106.5
	原 子 力	0	0	0	-
	新エネルギー 等	64	80	-16	79.3
	合 計	5,684	5,204	480	109.2
他 社 受 電		1,736	2,001	-265	86.8
融 通		-732	-707	-25	103.5
揚水用動力		-5	-1	-4	423.4
発電電合計		6,683	6,497	186	102.9
出 水 率		116.9	65.9	51.0	-

新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以 上